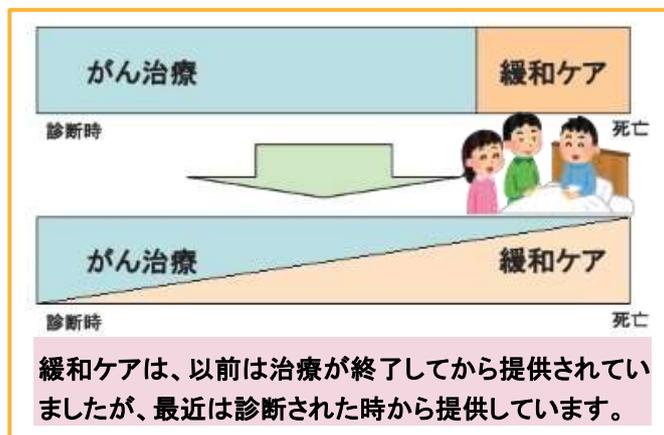




緩和ケアについて知ろう！

緩和ケアとは、**生命の危機がある患者と家族に対して、身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題に対し、早期から行われる、QOLを改善するアプローチのこと**です。以前は、がん患者のみが対象でしたが、呼吸不全、心不全、ALS(筋萎縮側索硬化症)も対象になりました。



栄養管理科や家族と連携した具体例

温かい食事の常温提供と摂取しやすい形態での提供

がん患者さんは吐き気や息苦しさなどの症状を抱えています。また、貧血や体力の消耗によって、食事を食べる動作自体辛いと感じている場合があります。



温かい汁物は、蒸気によりむせ咳を誘発し、呼吸困難がある方は更に呼吸状態が悪化します。そのため、栄養管理科に依頼し、**温かい汁物や温かいご飯を冷まして提供しました**。容易に摂取しやすい形態として、**ご飯をおにぎりにしたり、パンやジュースに変更したりして提供しました**。

水、アイス、冷水、炭酸水の提供

水やアイス、冷たい飲み物、炭酸水などを好んで食べている場面が記憶にないでしょうか。鼻と上あごに三叉神経第2枝という温度を感じる神経があり、**氷を食べたり、冷水を飲んだりすると、爽快感を得られるため、好まれる傾向にあります**。

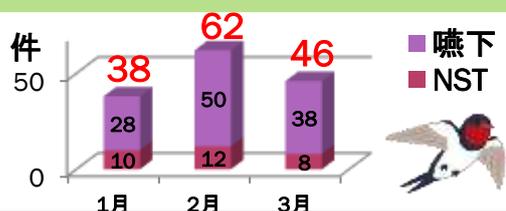


家族に、**好きな味の氷を作ってもらったり、アイスや冷たい飲み物を持参していただく**ことで、家族も患者さんとの関わりに参加できたと感じていただけました。また、吐き気がある患者さんに**炭酸水を提案して効果があった**事例もありました。

困っている症状などがあれば、教えていただけると幸いです。

担当:緩和ケア認定看護師 山本亜佐美

月別栄養サポートチーム加算件数



2022年度は774名の方に回診し、561件の算定をとりました。

●基本的緩和ケアと専門的緩和ケアについて

主治医や担当薬剤師、受け持ち看護師、その他担当の医療者から提供されるのが**基本的緩和ケア**といい、緩和ケア病棟や緩和ケアチームから提供されるのが、**専門的緩和ケア**になります。当院で緩和ケアの対象となるのは、がん患者さんです。ただし、症状によってはがん患者さん以外にも介入を行う場合もあり、介入内容も栄養面を含むようになっていきます。